乙訓歯科医師会から健康教室

Dental Association Otokuni

食べることは、生きる力の源 ～地域に寄り添う歯科医師会を目指して～

「入院中に入れ歯をなくしたので、新しく作って欲しい」との依頼があり、先日、某病院に往診しました。80歳代の男性、消化器系疾患による手術直後で絶飲絶食の状態でした。お口の中は舌も頬の粘膜もひどく乾燥していて痛々しい感じでしたが、入れ歯作製のための歯型取りをしました。

その後、一連の過程を経て完成した入れ歯を持って、いつものように午後1時半頃に病院に訪問しました。まだ絶飲食中だと思っていたので、「お食事は、まだ食べられていませんか？」と尋ねると、「お昼ご飯が終わりました。柔らかい物だけですが食べ始めています」とのお返事でした。その声が、それまで数回訪問したときの少しこもったような様子ではなく、ハキハキとお話しをされました。

また、少々うつろに感じられた目も輝き、顔色もいいようでした。もちろん、それだけが原因ではないでしょうが、「口から食事を摂ることは、元気の源なのだ」と感じました。

「訪問診療」など、積極的に

さて、ご挨拶が遅くなりました。また私事で恐縮ですが、筆者は本年7月より乙訓歯科医師会会長に就任しました。当会には、乙訓地域にて開業する歯科医師の大多数が加入しており、各医院で歯科診療にあたりながら、診療所内外でもさまざまな活動をしています。

その1つとして、保育所・小学校・中学・高校・支援学校の学校（保育所）歯科医として、歯科健診などを通じて、児童生徒の健やかな成長を見守っています。また、乳幼児から、成人、高齢者に至るまで、あらゆる年齢の方々に対しても健診を行い、地域の皆さんの歯やお口の健康状態のチェックを行っています。

また、我が国は超高齢社会と言われて久しいですが、ご高齢の方が多くなるにしたがい、歯科診療所への通院が困難になられる方も増えています。当会会員の多くは、ご自宅で療養されている方、施設に入所されている方に対しての訪問歯科診療などを積極的に行っています。詳しくは、乙訓口腔サポートセンター（ファックス：０１２０－０９２－５９３）にご連絡ください。

いつまでも、人生最期の日まで健康でありたい、美味しく食べたい、との想いは誰しもが望まれることでしょう。また、食べることは人生最大の楽しみの一つではないでしょうか。

乙訓歯科医師会では、これらを実現するために、この「健康教室」を通じてもお口やお身体の健康に関する情報を発信していきます。また、地域の全ての皆さんに寄り添う、皆さんの健康状態の維持増進に役立つ歯科医師会を目指して参ります。

（乙訓歯科医師会会長　内藤雅文）

乙訓歯科医師会ホームページ　http://www.kda8020.or.jp/otokuni/